

開催日時	令和8年1月7日(水) 20時00分～22時00分
開催場所	ZOOM
出席者	大西、大野、水野、原田
欠席者	田中、上村、山口、森田、加藤、宮崎、熊谷、成田、伊藤
記録者	原田
議題	2026年度の予算案について・コアメンバー会議
<p>【内容】</p> <p>【総務・広報G】</p> <p>2026年度より、東播磨支部のLINEでのオープンチャットを導入する。 早ければ、5月ぐらいからの予定。 内容は、東播磨支部事業と一部県士会情報、診療報酬・介護報酬の情報を配信の方向ですすめる。 運用方法については、2026年度以降でマニュアルを作成する。 HPTAメールは継続して使用する。 オープンチャット運用のお知らせは、各施設に封書で案内を出す。 オープンチャットの利用状況をみて、公式LINEへの移行を次年度以降で検討する。</p> <p>【渉外G】</p> <p>・研修助成事業は、来年度も同様に2施設で行う 2025年度は、1件目は1/31開催決定。2件目は2月で最終調整中 ・支部コミュニティ事業は、臨床症例フォーラム(仮)にて発表者の懇親会(軽食)に使用する。</p> <p>【学術G】</p> <p>・WEB研修会は、2026年度も継続して5月と7月にZOOMで施行 ・新人発表を対面にした方が良いとの意見が運営委員会で多く挙がったため、開催方法について検討した。 ・対面開催などの課題として、対象者以外の参加が少ない・会場費が増えるなどがある。 ・予算のスリム化を図るため、「症例検討会＋新人発表会＋対面研修＋支部コミュニティ事業」を2日間で行う、「東播磨支部 臨床症例フォーラム2026(仮)」の開催で、予算を申請する。 ・1日目は、症例検討会＋対面研修、2日目は、新人発表会＋対面研修とする。 2日目に関しては、新人発表の発表で優秀な演題について、症例検討会に読み替えをおこなう。発表数に合わせて、午前中2会場でおこなう。2日目の昼食時間にランチョンセミナーとして、会長・理事講話をおこなう。 「東播磨支部 臨床症例フォーラム2026(仮)」では、支部内の会員の参加が多く見込まれるため、支部コミュニティ事業の予算から、2日間の発表者に昼食の提供をおこなう。</p>	
日時・場所	